

あの、伝説の映画『パリ、テキサス』から20年
心の空白を埋める旅が始まる



FESTIVAL DE CANNES
OFFICIAL SELECTION
COMPETITION - 2005

2005年 カンヌ国際映画祭
コンペティション部門
正式出品作品

アメリカ、家族のいる風景

Don't Come Knocking

『パリ、テキサス』以来待望のコンビ 監督: ヴィム・ヴェンダース 脚本: サム・シェパード

出演: サム・シェパード、ジェシカ・ラング、ティム・ロス、ガブリエル・マン、サラ・ポーリー、フェアルーザ・バーク、エヴァ・マリー・セイント 音楽: T・ボーン・バーネット「オーブラザー！」

HANWAY and PETER SCHWARTZKOPFF present a REVERSE ANGLE production in co-production with REVERSE ANGLE INTERNATIONAL and ARTE FRANCE CINEMA in association with EUROARTS NETWORK MOVIE OCEAN FILMS DISTRIBUTION RECORDED PICTURE COMPANY ROAD MOVIES FILM PRODUCTION SONY PICTURES CLASSICS ZDF/ARTE in cooperation with GERMAN FEDERAL FILMBOARD FILMPÖRDERUNG HAMBURG MEDIENBOARD BERLIN-BRANDENBURG a WIM WENDERS FILM "DON'T COME KNOCKING" SAM SHEPARD JESSICA LANGE TIM ROTH GABRIEL MANN SARAH POLLEY FAIRUZA BALK and EVA MARIE SAINT casting by HEIDI LEVITT executive music producer T BONE BURNETT costume designer CAROLINE ESELIN-SCHAEFER editors PETER PRZYGDODA OLI WEISS production designer NATHAN AMONDSOZ director of photography FRANZ LUSTIG screenplay by SAM SHEPARD Story by SAM SHEPARD & WIM WENDERS executive producer JEREMY THOMAS co-producer CARSTEN LORENZ producers KARSTEN BRÜNIG IN-AH LEE produced by PETER SCHWARTZKOPFF directed by WIM WENDERS 提供: レントラックジャパン / クロックワークス 協カ: コムストック オーガニゼーション 配給: クロックワークス

© 2005 REVERSE ANGLE PRODUCTION GMBH REVERSE ANGLE INTERNATIONAL GMBH all rights reserved

arte EUROARTS HanWay NETWORK MOVIE filmförderungs hamburg medienboard. KLOCK WORKS www.dontcomeknocking.com

「この映画を超える作品は、もう作れないだろう」

by ヴィム・ヴェンダース

アメリカ、家族のいる風景

Don't Come Knocking

世界中を感動させた『バリ、テキサス』のコンビ監督ヴィム・ヴェンダース、脚本サム・シェパード待望の新作カンヌ映画祭で最高賞にあたるパルムドールに輝き、世界的な成功をおさめた『バリ、テキサス』から20年。以来、『ベルリン・天使の詩』(87)、『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ』(99)など数々の名作を生み出してきたヴィム・ヴェンダースのキャリアの集大成が、本作『アメリカ、家族のいる風景』である。ヴェンダース曰く『『バリ、テキサス』での彼との仕事は、本当に完璧な体験だったから、再び組むことに躊躇していた。』というサム・シェパードをあえて脚本に迎えたことから、本作への強い意気込みが感じられる。二人は20年間でお互いが得たものを生かし、前作の“完璧な体験”を超える傑作をここに誕生させた。



これ以上はない豪華なキャスティング

ヴェンダースは当時『バリ、テキサス』の主人公トラヴィスをサム・シェパードに演じて欲しいと何度も懇願したが、「演じるための準備ができていない」と断られていた。しかし、本作『アメリカ、家族のいる風景』では、なんとシェパードの方から出演の申し出があった。シェパード演じる落ちぶれた老俳優ハワード・スペンスが、人生の空白を埋めようと、まだ見ぬ自分の子供を捜して街を彷徨う姿は、観るものすべてを魅了する力があり、ヴェンダースが熱望したのも頷ける。その他ジェシカ・ラング、ティム・ロス、サラ・ポーリー、エヴァ・マリー・セイント、ガブリエル・マン、とヴェンダースが「人生でこれ以上のキャストに恵まれたことがない」と言うほどの豪華キャストが集結した。

モンタナの荒れた街に響き渡る、 Tボーン・バーネットのルーツ・ロック・サウンド

ヴェンダースの名作を語るには音楽が欠かせない。本作ではボブ・ディラン、エルビス・コステロ、ロス・ロボス等のプロデューサーとして活躍し、映画『オー!ブラザー』でサントラの枠を超えるヒットを生み出したTボーン・バーネットが音楽を担当。ユタ州モアブの荒涼とした風景、モンタナ州ビュートの寂れた街並みに響く、独特の骨太なルーツ・ロック・サウンドが、人生に彷徨う主人公の心情と重なり激しく心を揺さぶる。

2006年 陽春ロードショー

特別鑑賞券¥1,500 / ペア券¥2,800 (シネスイッチ銀座のみ) 好評発売中! (税込) 当日一般¥1,800の処

劇場窓口でお買い求めの方に特製ポストカード・ブック(限定)プレゼント!

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り

シネスイッチ銀座

03-3561-0707 www.cineswitch.com